

九州支部 2016 年度総会・研究会報告

九州支部長 藤元嘉安（宮崎大学）

九州支部では、今年度、委員の変更はなく、支部長・藤元嘉安（宮崎大学）、副支部長・堤祐司先生（九州大学大学院）のもと、執行部のご協力をお借りし、支部運営を励めております。

今回は、9月12～13日に鹿児島大学農学部において開催されました第23回九州支部大会を中心にご報告いたします。

第23回日本木材学会九州支部大会の開催報告

平成28年度の九州支部大会は、西野吉彦先生を運営委員長とし、鹿児島大学農学部で、9月12～13日の日程で開催されました。初日には、フェーズⅠの口頭発表1件と研鑽プログラム（公開講演会）および懇親会が行われました。

公開講演会では、鹿児島大学・西野吉彦先生の司会のもと、山佐木材・村田忠氏により、「CLTの普及に向けた取り組み」、また、さつまファインウッド・藤村要氏により「国産スギ枠組み壁工法用材の量産化と今後の課題」と題したご講演をいただきました〔写真1〕。いずれも新しいスギ材利用に関する内容で有り、非常に興味深く思えました。なお、講演会には、約70名の参加がありました。

懇親会では、約50名が参加し、鹿児島の美味しい料理と焼酎が提供され、非常に盛大に行われました。なお、学会本部からは、福島和彦副会長に昼の部から引き続き懇親会にご参加いただき、来賓としてご挨拶をいただきました。お忙しい中、遠く鹿児島までお越しいただき、心より感謝いたしております。

2日目には、ポスター発表会（9件）とともに、口頭研究発表会（フェーズⅡ：7件）および総会が行われました。口頭研究発表会には、約60名が参加し、活発な質疑応答がなされました。ポスター発表では、約60名の参加があり、9件の発表が行われました〔写真2〕。

総会におきましては、平成27年度の事業報告及び決算報告・会計監査報告、平成28年度の事業計画及び予算案ならびに第67回日本木材学会大会（福岡）の準備状況等について、審議・報告がなされました。

また、九州支部で例年表彰を行っている黎明研究者賞の本年度の受賞者は、以下のよう
に決定され、支部総会終了後に授与式が行われました。

黎明研究者賞（論文）：対象者なし

黎明研究者賞（口答発表）：九州大学 田川聡美 氏

黎明研究者賞（展示発表）：宮崎大学 元田多一 氏

おめでとうございます。皆様の今後のご活躍を期待しております。

記

第 23 回日本木材学会九州支部大会（概要）

日 程：平成 28 年 9 月 12 日（月）、13 日（火）

会 場：【研究発表、講演会、総会】鹿児島大学農学部共通棟 101 講義室
【懇親会】鹿児島大学中央食堂

主 催：日本木材学会九州支部

共 催：日本木材加工技術協会九州支部、九州紙パルプ研究会

内 容：【9 月 12 日（月）】

◇研究発表（口頭） 参加者 71 人
（フェーズⅠ：1 件）

◇公開講演会：

「CLT の普及に向けた取り組み」 講演者 村田忠氏
（山佐木材株式会社）

「国産スギ枠組み壁工法用材の量産化と今後の課題」講演者 藤村要氏
（株式会社さつまファインウッド）

参加者 71 人

◇懇親会

参加者 49 人

【9 月 13 日（火）】

◇ポスター発表会 19 件 参加者 63 人

◇研究発表（口頭） 参加者 63 人
（フェーズⅡ：10 件）

◇総会



写真 1. 公開講演会の状況

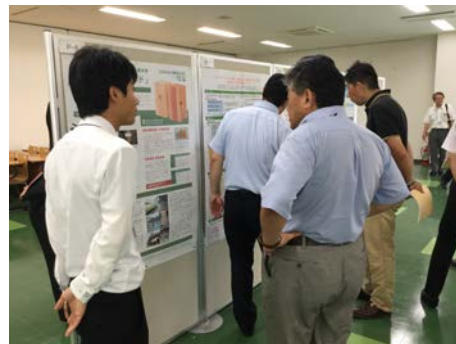


写真 2. ポスター発表の状況